



消費税増税阻止と9条改憲阻止へ力のつばい



安倍改憲阻止と増税許さぬ闘いの正念場の年！

2018年を迎え、安倍首相の年頭所感で重点項目の改憲の実行の1年にしたいとのべました。そして消費税は「リーマンショック」並みことが起きない限り10%必ずやると述べました。

改憲の世論調査では憲法9条の改定について過半数が「必要ない」、改憲の国会論議を「急ぐ必要はない」が67%を占めました。

安倍首相は憲法で政府を縛る立憲主義を乱暴に破壊してきました。そんな中で戦争法の下で自衛隊を憲法に書き込み「戦争する国」に突き進み「国民主義」も「平和主義」も投げ捨てることになりました。3千万署名と増税反対の2つの署名を積み上げましょう。まさに正念場の新年到来です。

消費税導入怒りの24日各地で宣伝署名行

12月24日はクリスマススイブ、都内各地で消費税導入怒りの記念日として各地でサンタクロースの衣装を着て宣伝行動が行われました。

■「杉並の会」は阿佐ヶ谷駅で12人が参加、若い女性が「リストラ、病気で働けなくなっても支払わされる消費税はゆるせない」と語り、飛び入りの47歳男性が「安倍政治はあまりにもひどい、戦争への道に突き進んでいる。消



未来は若者のもの

誇りをもって働きたい！
8時間働けば普通の暮らしができる社

成人式宣言 要求が実現できる政治とともに

1月8日成人の日、新しい門出を迎えた新成人は全国で123万人。消費税をなくす全国の会と東京の会は池袋の東京芸術劇場前で新成人に向かって「希望の未来をともに築きましょう」と訴えました。

新成人の若者たちは就職、仕事、勉強など将来に希望を持ちたいと願っています。しかし命をないがしろにした利潤追求第一の企業と安倍政権のもとで過労死や過労自殺が絶えません。安倍政権の財界の要求通りの「働き方改革」は過労死ラインを超える残業を容認するひどいものです。

いま若者は「誇りをもって働きたい」「お金の心配なく学びたい」「8時間働けば普通に暮らしがで

格差ありすぎる何とかしてほしいアンケートに55人が回答

「消費税は最も不公平な税金で、直ちにやめる、減税すべきと考えますが皆さんの気持ちを聞かせてください」との呼びかけに55人が回答しました。

安倍首相が19年に10%に引き上げようとしていることに、減税や

消費税導入30年記念、怒りの12・24行動

JR集鴨駅22人参加で消費税32、9条7の署名

消費税をなくす全国の会と東京の会、豊島消費税廃止各界連絡会が12月24日JR集鴨駅前前で総勢22名参加しました。

消費税増税NOと9条改憲NO宣2つの宣伝・署名行動。クリスマスマスのサンタクロース姿での宣伝は「とげぬき地蔵」へのお参りのお年寄りや子どもにも注目されました。

70代の女性は「シングルマザーの生活は8%になっても大変なのに10%になつてとんでもない」と語り、65歳の男性は「年金生活者にとって消費税10%は、年金10%減ると同じ」と怒り、「安倍さんは戦争をやりそうな危険な人だ」と安倍政権の危険性を訴える人も少なくありませんでした。



東京芸術劇場前で

8%のままを望む若者が過半数でした。「格差がありすぎる何とかして」「消費税をなくしてほしい」「医療、教育費をタダにしてほしい」の声がある一方、「仕方がない」が25人いました。「消費税をなくしたら財源どうするの」の疑問も寄せられました。私たちの運動をさらに強める必要を感じました。

2017年度年末募金への協力があがりました。

会報12月号で年末募金の訴えをさせていただきましたところ、たくさんの方から貴重な募金の振り込みを頂きました。心よりお礼を申し上げます。

ありがとうございます。

憲法守れ!増税するなら、大企業・富裕層から!

「天田六郷の会」総会80人参加で熱気

消費税をなくす大田六郷の会は12月2日、六郷9条改憲NO!、核兵器廃絶署名、地域推進センターで第4回総会を開きました。向井事務局長が全国の総会で「やるたんびに新しい仲間が増える」と発言した通り、この日は総勢80人が集いました。会場には「憲法9条守れ!、増税するなら大企業・富裕層から!」の横断幕が掲げられています。坂本会代表のあいさつに続き、木口全国の会事務局長、林東京の会事務局長も参加してあいさつしました。



の署名が次々回り、それぞれ50名近くが寄せられました。総会是一年間の活動報告はもちろんです。集まりは楽しくなくちゃ」という通り、文化人の多いといわれる地元の評判通り、踊りあり、尺八演奏、藤田都議のオカリナ演奏、南部合唱団のみんなが歌おうの合唱ありで、最後は署名行動の際のパレードのように、のぼり旗を立て、鐘と三線で会場の参加者がみんなが歌いながら踊る熱気に包まれた総会になりました。最後に「来年も平和で安心して暮らせるよう元気で頑張りましょう」と誓いあいました。新年は1月13日15時から雑色駅前宣伝から活動開始します。

八王子の会も12人で49名の署名

12月24日、JR八王子駅で全国一斉の怒りの宣伝行動に「消費税をなくす八王子の会」も12名で宣伝・署名活動を展開、49名の署名が寄せられました。「10%なんてどこからそんな考えが出てくるのかしら。軍費の財源を庶民から搾り取るなんて本道だ!」と怒りの署名をされた。かまされま



た。かまされま

東京各界連はJR大塚駅で2つの宣伝署名行動

12月18日、消費税廃止東京各界連絡会がJR大塚駅で昼休み宣伝行動、6団体22名が参加しました。



CHIHIRO CALENDAR
いわさきちひろカレンダー
 世界中のこども みんなに
 平和としあわせを
 このいわさきちひろのねがいをこめて、いわさきちひろカレンダーは、手から手へ、心から心へ、日本中にひろがっています。
 いわさきちひろ作品普及会

東京地評、民医連、自治労連、東商連、なくす会などが次々訴え、政党で唯一参加する日本共産党から齋藤まり子都議会議員が訴えました。その後の事務局団体会議では「改憲・大増税阻止」の大宣伝を決めました。

「天下の悪税・消費税をなくしたい」という世論が大きく広がりがり1990年6月29日、消費税をなくす全国の会が結成され、7月には東京の会が結成されました。当時、多くの国民は「消費税は公約違反であり、一日も早い廃止を」と強く(怒りをもって)願っていました。今でも多くのの方が「消費税は不公平な税金だ」、「消費税の増税はやめてほしい」と思っています。当時は「消費税は仕方ない」などと語る人はほとんどいませんでした。

1989年4月1日、消費税3%が実施され日本中に消費税ノ一の声が広がりました。その3ヶ月後の参議院選挙では野党の日本社会党が46議席を獲得するなど、与党36議席(当時の与党は自民党1党)に対し野党が90議席を獲得、与野党が逆転し自民党は結党以来始めて追加公認を合わせても参議院での過半数を失いました。特に、1人区では前回の25勝1敗から一転して3勝23敗と惨敗したのです。

消費税の導入以降、自民政権の基盤はぐらついているのです。参議院選挙の結果は、消費税の強行導入と政治家・官僚の収賄事件「リクルート事件」に対する国民の怒りの表れでした。消費税導入に真正面から一貫して反対し、リクルート事件を徹底的に追及闘いの先頭にたった日本共産党が5議席(前回9議席)と振いませんでした。

国民運動と政党の奮闘が、必ずしも選挙結果に結びつかなかつた訳ですが、闘いが政治に結び付かなければ、その後の社会党の転落(社会党村山内閣による消費税5%への引上げ、そして解党)が示すように要求実現の道は開かれませんでした。私たち消費税をなくす会の特徴の一つは、一人一人が政治を語り、行動し選挙にもかかわっていくことだと思えます。

消費税をなくす会と27年4ヶ月

消費税をなくす大田の会事務局長・税理士 佐伯正隆

話は戻りますが、全国の会・東京の会が結成され、各地で消費税をなくす会を結成しようとの機運が高まってきました。私たち大田の会もだいたい手間取ったと思いましたが(それでも全国の結成から3ヵ月半後に結成)、革新懇の人たちが中心となり、なくす会結成の準備がはじまりました。当初7名のよびかけ人が何回も集まり相談し、結成総会の準備をしました。同年6月20日20、000人、1993年3月30、000人、1996年6月14日40、000人、2003年3月25日には50、000人を突破しました。

15年近く会員拡大と宣伝行動など「派手な」活動に没頭してきましたが、中心メンバーは年を重ね、なくす会の腕章を棺にしにのぼせることも多くなってきました。残った創立メンバーは私も含め多くが大病を患い、従来のような活動がなかなかできません。ところが、活動の炎は地域から燃え上って来ました。かつては地域を足しげくまわり、地域



の道を切り開き、憲法を守り、政治を変える力となっていくでしょう。